



フィルハーモニッシャー・コール

第5回 演奏会

指揮 松岡 究 Hakaru Matsuoka

指揮を小林研一郎氏に師事。1991年文化庁在外研修員、2004年～2007年ローム財団音楽特別研究生としてベルリンで研修。1987年～2008年東京オペラプロデュース指揮者。2009年～2012年日本オペレッタ協会音楽監督、東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団専任指揮者をそれぞれ歴任。現在、東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団常任指揮者。

指揮・合唱指揮 吉川 貴洋 Takahiro Yoshikawa

慶應義塾大学理工学部卒業。同大学大学院理工学研究科修了。松下電器産業株式会社に6年間勤務した後、指揮者として活動を始める。幼少よりオペラ・合唱に親しみ、11歳で東京室内歌劇場『アマールと夜の訪問者』にアマール役として出演。また、大学在籍中より20年にわたり畑中良輔氏の下で研鑽を積み、慶應ワグネル、同OB合唱団等を指揮し好評を得る。現在は、伊藤忠社友会コール青山、藤沢男声合唱団、混声合唱団水曜会等、8団体の音楽監督、常任指揮者を務める他、多くの団体の指揮、指導を行う。指揮法を北村協一氏に師事。

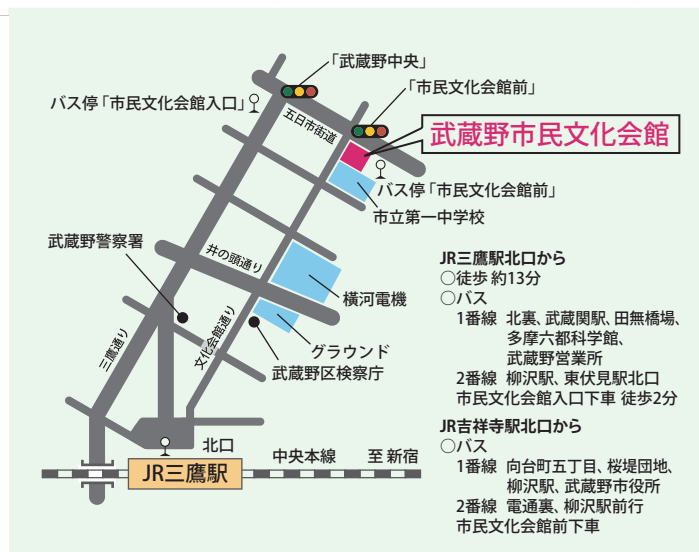
ピアノ 渡辺 まどか Madoka Watanabe

東京藝術大学ピアノ科卒業。卒業後すぐに、日本オペラ振興会オペラ歌手育成部にピアニストとして参加。オペラ歌手を育てる仕事を今も継続している。また、日本オペラ振興会を中心に、多数のオペラ公演の稽古ピアニストを務める。新国立劇場創設時から2003年までは、同劇場主催のオペラ公演の音楽スタッフを務める。フィルハーモニッシャー・コールとは第1回の演奏会からのお付き合い。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部講師、藤原歌劇団団員。

会場のご案内

JR三鷹駅北口から徒歩 約13分

※駐車場の台数が非常に少ないため、公共交通機関をご利用ください。



ソプラノ 柏原 奈穂 Naho Kashiwabara

東京藝術大学声楽科卒業。同大学院修士課程オペラ科修了。藝大卒業時にアカンサス音楽賞受賞。2006年文化庁海外派遣在外研修員としてイタリアへ留学。パルージャ国立音楽院を最高点で修了。これまでに「フィガロの結婚」(スザンナ)、「後宮よりの逃走」(コンスタンツェ)など多数出演。第11回世界オペラ歌唱コンクール「新しい声2005」で優秀者として、ドイツでの本選に出場。聖徳大学音楽学部非常勤講師。日本声楽家協会研究所および教育センター講師。二期会会員。日本声楽アカデミー会員。

テノール 高橋 淳 Jun Takahashi

東京音楽大学卒業、同大学院修士課程修了。モーツァルトウム音楽院夏期アカデミー修了。二期会オペラ研修所修了。オペラでは新国立劇場、二期会、びわ湖ホールをはじめとする国内の多数公演、海外ではイタリアのブッチェニ・フェスティバルにも出演。コンサートではN響、読売日響をはじめ、国内主要オーケストラとの共演のみならず、ザルツブルク音楽祭、ベルリン、アムステルダムと海外でも幅広いレパートリーを歌っている。CD「暁は光から」発売中。東京音楽大学および埼玉県立大宮光陵高校音楽科各講師、二期会会員。

バリトン 原田 圭 Kei Harada

東京藝術大学卒業。同大学院博士後期課程修了。博士号(音楽)取得。在学中に安宅賞受賞。「藝大メサイア」公演のソリストとしてデビュー。東京文化会館新進音楽家オーディション合格、デビューコンサートに出演。第16回奏楽堂日本歌曲コンクール第1位、中田喜直賞受賞。第77回日本音楽コンクール入選。新国立劇場、二期会、日生劇場等のオペラや、「第九」「レクイエム」等のコンサートソリストとしても多数出演。NHK「名曲アルバム」に出演。千葉大学教育学部音楽科、日本大学芸術学部及び同大学院講師。二期会会員。

管弦楽 東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団
Tokyo Universal Philharmony Orchestra

東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団は1973年に青少年への音楽芸術の普及を目指し、日本新交響楽団として活動開始。1997年に改称。定期演奏会、名曲コンサート、ニューイヤーコンサートなどの自主公演も100回を数え、質の高い演奏でクラシック音楽愛好者の輪を広げて来た。2011年より「歌心のあるオーケストラ」として常任指揮者に松岡究氏を迎え、合唱との共演やオペラ公演で好評を得ている。また「未来からの使者たちへ」として〈学校音楽鑑賞会〉でも大きな感動の輪を広げている。公益社団法人日本オーケストラ連盟準会員。

合唱 フィルハーモニッシャー・コール
Philharmonischer Chor



フィルハーモニッシャーコール (PHC) は「音楽を愛する人の合唱団」を意味する。パイオニア合唱団としての20年の活動を礎に、2015年に誕生した自主運営の混声合唱団。オーケストラと共演する演奏会開催を活動の柱とする。2020年からのコロナ禍によって第4回演奏会は延期・中止となったが、この間もオンライン練習、さらには感染対策を実施しての対面練習を行ってきた。練習ではプロのオペラ歌手による発声指導も実施。これまでに、ラター「マニフィカト」、モーツァルト「戴冠ミサ」、ブッチェニ「4声のミサ曲」、パッハ「ミサ曲短調」等、幅広い作曲家の作品に取り組んでいる。

感染症予防対策(マスク着用、検温、手指消毒、連絡先記入、密を避けての行動など)のご協力をお願いいたします。発熱/体調不良のある方はご来場をお控えください。必要に応じて合唱団員がマスク着用で歌う場合も、健康上の理由によりマスクができない団員もおりますことをご了承ください。状況により対策内容に変更の可能性がございます。ご来場前に必ず右記QRコードから弊団ホームページ「ご来場の皆様へのお願い」をご覧ください。

